

長期休み中の昼食提供について

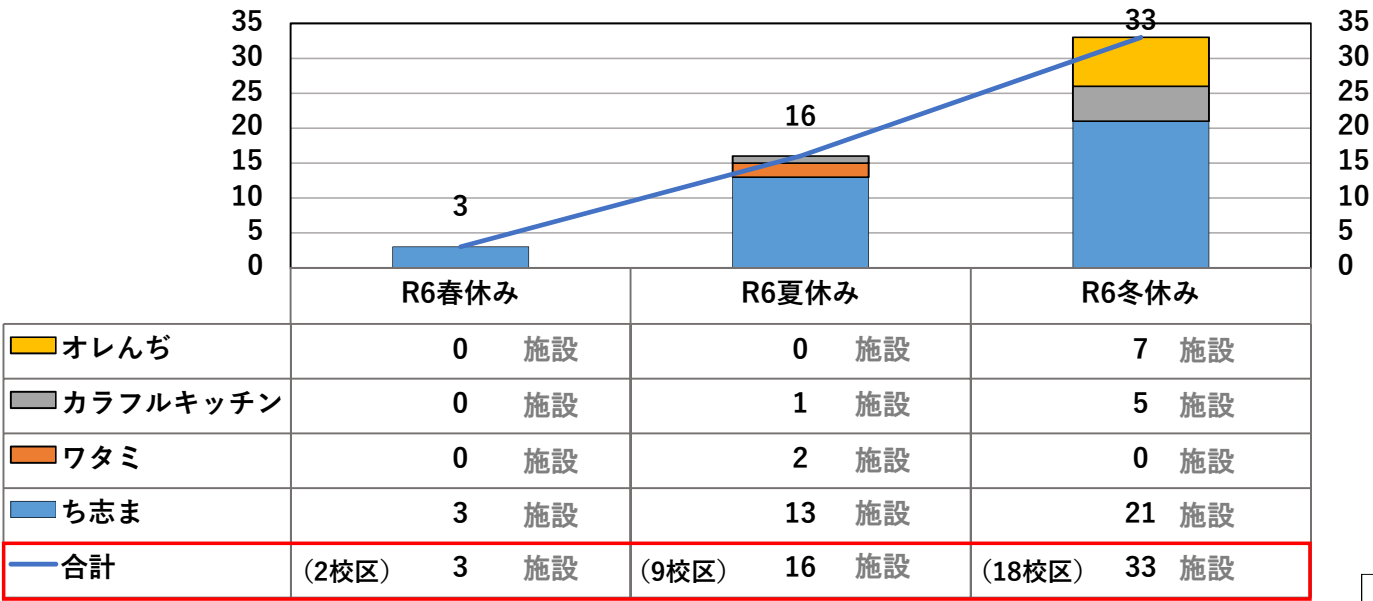
①これまでの経過

- 【R5.6.28 こども家庭庁事務連絡】長期休業中の昼食提供に関して地域の実情に応じた対応を。
- 施設職員の負担を最小限で昼食提供ができるか令和 6 年の春休みに 2 校区 3 施設で試験的に実施。
- 令和 6 年夏休みからは、春休みの昼食提供の結果を元に、新たに 2 事業者が参入し、9 校区 16 施設で実施。また、メニューを改良するなど、利用者の声をサービスに反映した。
- 夏休みの保護者アンケート結果から、冬休みはメニューや締切日の改善を実施。また、新たな事業者にも協力を要請し、対象施設を 18 校区 33 施設に拡大した。

②施設数の推移

施設数拡大への取組み

1. 事業者の配送ルート等から対象施設を選定
- ↓
2. 施設に協力を要請
- ↓
3. 配送できない地域は、新たな事業者にも協力を要請



③実施状況

【春休み】2校区 3施設

- ・「ち志ま」が、保護者と個別に注文から請求まで行えることができるかを検証。
- ・施設に配達された弁当を、施設職員が注文者リストを見ながら弁当を配布することが負担なく行えることを確認。
- ・メニューは1種類のみで試行実施したが、保護者アンケートの結果、メニューや価格の選択肢を増やしてほしいとの要望があった。

【夏休み】9校区 16施設

- ・「ち志ま」の既存配送ルートや受注可能数を考慮しながら対象施設を拡大。
- ・新たに2つの事業者(ワタミ・カラフルキッチン)にも協力を要請し、施設の負担を最小限で実施する仕組みを検証。
- ・「ち志ま」で導入した注文管理システムの運用について検証。
- ・「ち志ま」のメニューを3つに拡大し、価格も300円～500円とした。
- ・保護者アンケートの結果、子ども向けメニューへの要望が多かったため、弁当事業者へフィードバックした。

【冬休み】18校区 33施設

- ・毎日の弁当作りの負担軽減や、弁当の温度管理の心配などから、全体的に昼食提供を求める声が多かった。
- ・対象施設を拡大したが、新たに実施した施設でも、昼食提供にかかわる施設の負担等については、特に設備や人員を増やすなど、新たな対応をすることなく、昼食提供が実施できることが実証された。
- ・「ち志ま」の注文締切を利用日の3日前から前日15:00に改善。
- ・保護者アンケートの結果、価格やメニューに対する満足度は夏休みよりも高い結果となった。
- ・弁当事業者には、更なる対象施設の拡大の検討を依頼。



④利用者数と注文数

利用者数の推移

- 夏休みの昼食提供
昼食提供施設登録者数 1,944人（全体の22.2%）
注文総数 1,509個（平均85個/日）
- 冬休みの昼食提供
昼食提供施設登録者数 4,119人（全体の47.1%）
注文総数 769個（平均153個/日）

R6春休み	事業者	校区数	施設数	登録者数	注文総数	備考
	ち志ま	2	3	300	51	1種類のみ
	合計	2	3	300	51	4.5個/日

R6夏休み	事業者	校区数	施設数	登録者数	注文総数	備考
	ち志ま	7	13	1787	1435	3種類
	ワタミ	1	2	101	9	5種類
	カラフルキッチン	1	1	56	65	8種類
	合計	9	16	1944	1509	85個/日

R6冬休み	事業者	校区数	施設数	登録者数	注文総数	備考
	ち志ま	11	21	2910	419	3種類
	カラフルキッチン	3	5	629	54	8種類
	オレんち	4	7	580	296	3種類
	合計	18	33	4119	769	153個/日

⑤メニューと価格

各事業者の取組み

【ち志ま】

ニーズに応え子ども向けメニューを取り入れる

【カラフルキッチン】

多様なメニューを用意

【オレんち】

価格を抑えた子ども向けメニュー

事業者名	注文方法	注文〆切	メニュー
ち志ま (21施設)	保護者 ↓ 注文専用サイト	前日 15:00	3種類 (300円～500円)
カラフル キッチン (5施設)		当日 8:30	7種類 (450円～1000円)
オレんち (7施設)	保護者 ↓ LINEで注文	当日 8:30	3種類 (300円～450円)

⑥メニュー例

事業者名	主なメニュー		
ち志ま 3種類 300円～500円	 おにぎりランチ ¥300円 (ごはん120g)	 スモールボックス ¥400円 (ごはん130g)	 お好み弁当 ¥500円 (ごはん165g)
カラフルキッチン 8種類 450円～1000円	 1日限定30食! 日替わり 贅沢弁当 700円(税込) 日替わりのおかず5品 +こだわりの逸品 カロリー目安850kcal ※前日までのご注文にて承ります。  日替わり デラックス弁当 550円(税込) 日替わりのおかず5品 カロリー目安750kcal  日替わり ヘルシー弁当 450円(税込) 日替わりのおかず5品 カロリー目安550kcal  居酒屋ながらで大人気! 焼き魚の王様 銀だら吟醸粕漬け焼き弁当 1000円  ふっくら厚切り 銀鮭塩焼き 700円  柔らかジューシーハンバーグ BIGハンバーグ弁当 600円  もう迷わない! 唐揚げとハンバーグ の欲張り盛り 2強盛り弁当 800円		
オレンぢ 3種類 300円～450円	 おにぎり弁当 300円	 日替り弁当 400円	 日替り弁当(大盛) 450円

⑦保護者アンケート結果

冬休み期間中の昼食提供実施施設（18校区 33施設）の保護者全員にアンケートを実施
 コドモンによるアンケート配信数4,119人 回答数2,215人（回答率53.8%）

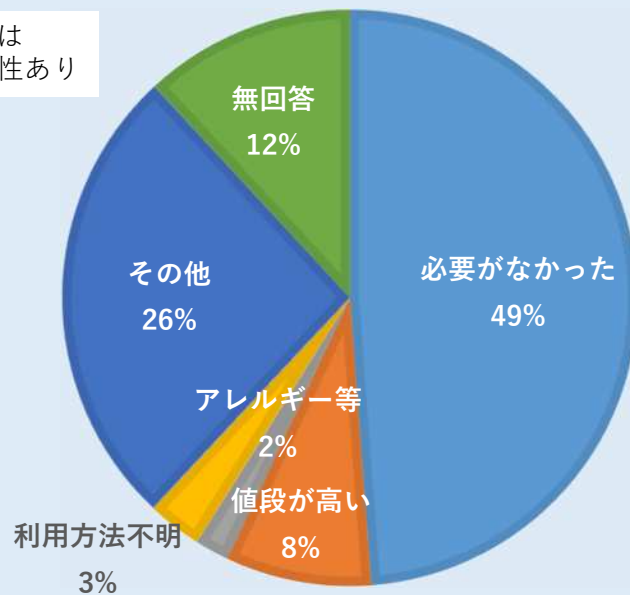
弁当を利用した人（279人）のアンケート集計結果

アンケート期間：1/8～1/14

事業者名	量 (ちょうどいい)	価格 (適正)	注文・支払 (利用しやすい)	サービス全体 (良かった)	注文者回答数
ち志ま	◎78.8%	◎82.4%	◎67.6%	◎74.7%	170人
カラフルキッチン	◎73.7%	◎63.2%	◎52.6%	◎68.4%	19人
オレんぢ	◎58.9%	◎74.4%	◎83.3%	◎87.8%	90人

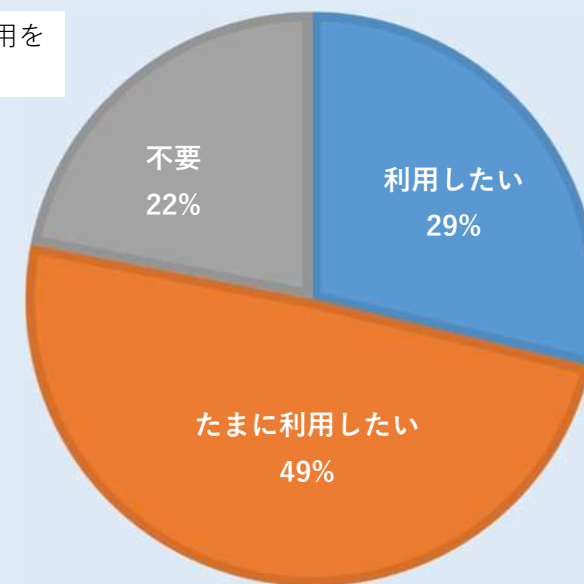
弁当を利用しなかった人（1,936人）の理由

春休み・夏休みでは
 需要が高まる可能性あり



今後の昼食提供を利用したいか（2,215人全員回答）

78%の人が今後の利用を
 希望している



⑧保護者の主な声

好意的意見	改善意見
◇お弁当作りの負担が減った ・ 弁当作りのストレスから解放された ・ 夏場の温度管理が心配だったので助かる ・ お弁当作りが嫌で実家に預けていたが、配達弁当があるなら施設を利用したい ・ 毎日お弁当作りでメニューなど悩んでいたのを助かります	◇利用しやすい価格にしてほしい ・ 毎日頼むにはもう少し安くしてほしい ・ 価格が高いので低価格メニューがほしい ・ おにぎりだけのメニューもほしい ・ 給食のように全員に提供してほしい
◇子どもが満足している ・ 子どもが美味しいと言っていたので、また利用したい。 ・ 注文しやすかった ・ メニューが魅力的で子どもも気に入っている ・ 子どもがお弁当を楽しみにして通っていた ・ カレーやハンバーガーの日はとても喜んでいた（オレんち）	◇子どものことを考えたメニューにしてほしい ・ 食べられない（苦手）なメニューがあって残してしまった ・ 好き嫌いがあると注文できる日が少ない ・ 量やメニューが大人向けで子ども用にしてほしい ・ 少食の子も選べるメニューがほしい ・ 子どもがお弁当の量が少ないと言っていた ・ 麺類やパンなども扱ってほしい ・ 野菜が少ないのでバランスも考えてほしい
◇昼食提供の取組みはいいと思う ・ （当日締切の業者は）当日注文できるのがありがたかった ・ とても助かっているのを継続してほしい ・ お弁当を注文できる選択肢があることがありがたい ・ （メニューや締切期限など）意見を聞いてもらってありがたい ・ 昼食提供がもっと多くの施設で導入されるといいと思う	◇もっと利用しやすい仕組みに改善してほしい ・ （前日締切の業者は）当日注文にも対応してほしい ・ 注文サイトにメニューの写真があるといいと思った ・ 口座の事前登録が面倒に感じる ・ 支払いはクレジットカードなどにも対応してほしい ・ 箸やスプーンは家庭で用意できるので、その分、質や量に反映してほしい

⑨施設職員の声

好意的意見

- ・子どもが楽しみにしており、保護者からも感謝の声があった。
- ・業者が柔軟で丁寧に対応してくれた。
- ・お弁当の量はちょうどいいと感じた。
- ・職員の負担感は全く無かった。
- ・子どもたちから美味しいという声が多かった。
- ・お弁当を楽しみにしている子どもが多かった。
- ・業者が不慣れな点はあったが、次回に向けて検証できたので良かった。

改善意見

- ・注文数が増えた際の置き場が心配。
- ・誤配か注文側のミスか確認できない。
- ・施設で事前に注文者が確認できない。
- ・保冷剤が入っていたのでお弁当が冷たいという声があった。
- ・配達数の連絡ミスがあった。
- ・量が足りない。野菜が足りない。
- ・注文が受理されていないことがあった。
- ・漬物類が子どもに不評だった。

⑩昼食提供の課題と今後の展開

【課題】

弁当事業者の受注可能数や配達エリアなどの制約から、現在のところ全施設での実施は難しく、新たな事業者の発掘や、山間部や少人数の施設でも対応できる仕組みを調査・研究していく必要がある。

【今後の展開】

引き続き弁当事業者と連携し、アンケート結果や施設職員の意見を参考に、サービスの改善を研究・検討し、昼食を用意する保護者の選択肢のひとつとして、今後も継続して実施していく。併せて、昼食提供を実施する施設の拡大も検討していく。